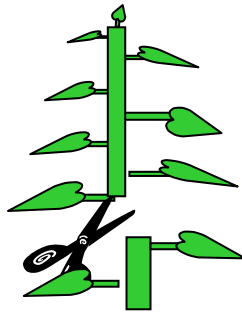




焼酎原料甘藷（採苗、定植）

良い苗とは



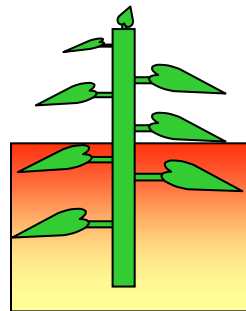
■採苗するときは、養分が多い夕方が好ましい。

■長さ25cm～30cm（節数があれば短くても良い）、太い根原基をもった6～7節の苗が良い。
（5節付近が、一番根原基が多いので良いイモになる）

■地際2節程度は残す。（2番苗の伸長促進のため）

■苗の置き置きも涼しい日陰にむしろ等を敷きポリ等で被覆し、温度を保つと発根しやすい。

定植



【直立植え】

苗を直立に2～3節植え込む方法で、畝の深い部分まで届くので、活着も良くイモの肥大も早い。また、マルチに葉っぱが触れないので、葉枯れもなく植え直しが少ない省力的な植え方です。

今年は全体的に苗の生育が遅れています。苗床の地温をなるべく下げないように、水やりに注意し、芋と芋の間に小さい溝を作ってやると根に酸素や水が行き届きます。また、圃場においては必要に応じてBB追肥1号等を施用することをお勧めします。



（今年よく見かける苗床）

馬鈴薯の管理

【4月上旬～4月下旬】・・・茎葉伸長期・肥大期

- 晩霜の心配がなくなってからパスライトを除去してください。
- 霜害を受けたら、メリット青などの葉面散布で樹勢の回復を図ってください。

【5月上旬～5月中旬】・・・開花期・肥大期・収穫期

- 収穫前の夏疫病、軟腐病に注意しましょう。（特に降雨後の発生大！！）
- 収穫前ですので、残留農薬に注意しましょう。

【病害虫対策】

4月、5月になると穏やかな気候になり気温も上昇し、病害虫も発生しやすい時期になります。殺虫剤と殺菌剤を混合して適期防除に心掛けましょう。

アフラムシ対策：オルトラン（水）、アドマイヤー（水）

疫病予防：ダコニール1000、ジマンダイセン（水）、ビスダイセン（水）

疫病治療：フォリオブラボ（顆粒水）、リドミルMZ（水）ホライズンドライ（フ）

※詳しい防除体系については、JAの園芸指導員等に問い合わせください。

ゴボウの管理

【4月～5月】

トンネル栽培：生育が遅れていますのでビニール除去は生育状況を見ながら慎重に行いましょう。

パスライト栽培：晩霜の心配がなくなってからパスライトを除去してください。

【病害虫対策】

アフラムシ対策：トンネル栽培は、収穫時期に注意し防除しましょう。

：パスライト栽培は、オルトラン（水）等で防除しましょう。

黒斑細菌病：Zボルドー（水）※銅剤なので単体で使用しましょう。

※詳しい防除体系については、JAの園芸指導員等に問い合わせください。

補助事業に関わる「人・農地プラン」制度が始まります。（H24）

【事業の概要】

この事業は高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域の支援対策として農水省が24年度から取り組む事業であります。

【支援策】

- ①新規就農者への支援：自ら独立して農業を開始する支援。農業法人等へ就職した経費の支援。
- ②農地集積への支援：農地の集積を進めようとする皆さんを支援。
（農地の出し手と受け手に対する支援）

※詳しくは市役所（各総合支所）、三股町、JAまで。

（文書取扱 JA都城 営農企画室）
営農サポーター：猪俣、内村、横山
TEL38-6693 FAX38-6692